

『令和5年度 緑区区民対話会 議事要旨』

日時 令和5年8月24日(木) 14時~15時45分

場所 緑区役所5階講堂

参加者 椎名公民館利用団体代表者 9名(椎名地区町内自治会連絡協議会会長ほか)

誉田公民館長、椎名公民館長

(教育委員会事務局)生涯学習部長、生涯学習振興課長

(区役所)緑区長、地域づくり支援課長、地域づくり支援課長補佐、

地域づくり支援課職員

1. 開会
2. 区長挨拶
3. 意見交換「椎名公民館の今後について」

○前503地区民生委員・児童委員協議会委員

椎名公民館については、今後の方向性について、椎名地区町内自治会連絡協議会会長を中心に要望を重ねてきた。これまでに要望を伝えてきた経緯があるので、現在の状況についてお伺いしたい。また、もし建て替えとなるとかなりの予算規模になると考えられる。そのため、市は今後の計画をどのように考えているのか。

●生涯学習振興課長

椎名公民館については、令和元年の台風災害時から利用できずにご迷惑をお掛けしたが、令和4年の1月4日から供用を再開し、今現在も稼働している。

千葉市の基本計画に基づき、令和5年度から3年間、第1次実施計画がスタートした。生涯学習部としても、令和5年度から第6次生涯学習推進計画をスタートしている。第1次実施計画及び第6次生涯学習推進計画に、47公民館と15図書館の社会教育施設について、保全計画の策定を位置付け、再整備が決定した際は、優先順位を設けながら進めていくこととなる。

その中に当然椎名公民館も含まれており、現在の状況も把握している。築年数自体がまもなく50年に達し、老朽化が著しいということと、土砂災害警戒区域に入っていることを加味しながら、椎名公民館の再整備について進めていく。

○前503地区民生委員・児童委員協議会委員

具体的に、椎名公民館が新築されるかどうかの情報は、どういうタイミングで教えていただけるのか。

●生涯学習振興課長

第1次実施計画の中で、社会教育施設の保全計画策定を終えたときに報告させていただく。

○前 503 地区民生委員・児童委員協議会委員

保全計画はいつからいつごろまでを予定しているか。

●生涯学習振興課長

社会経済状況により変化はあるが、基本的には10年ぐらいを考えている。

まずは、公民館整備の優先順位を決めて、優先順位の高いものから、計画を立てて、整備を進めていきたいと考えている。

●緑区長

現状、市の他の施設においても、保全計画を策定している状況である。しかし昨今の世界情勢を含めて、資材・人件費等の高騰により事業費が想定しているよりも、2割3割増しが当たり前のごとく膨れ上がっており、策定されている計画も先送りとなっているのが実情である。

公民館施設、学校教育施設については、生涯学習部で今年から始まっている実施計画を基に検討をした上で、まずは優先順位を決めて、現状把握とともに計画策定を進めていくので、計画がまとも次第、話せることがあるようであればまた情報は提供させていただければと思っている。

当然、複合化となれば、その他施設を含めて調整が必要となるため、区としても考えていかねばならない問題と認識している。

○椎名地区町内自治会連絡協議会会長

生涯学習振興課の皆さんと再三打合せをしてきたが、会議で決めた事がほとんど守って頂けなかった。

令和3年12月に椎名公民館利用再開の説明会を生涯学習振興課が開催し、椎名公民館は避難所として利用できないと説明された。ところが、区の説明では避難所として利用できると言われ、避難所運営委員の方から、「いったいどっちなんだ。口頭ではなくしっかりした文書が欲しい」と要望があり行政にお願いしたが未だかつてもらえない。椎名公民館は避難所でもあるが、地域住民はそもそも椎名公民館を避難所として利用して良いのか、どのような災害が発生した際には利用することが出来ないのかを理解していないことが多いと感じている。

そのため、地域住民に対して、市として椎名公民館をどのような形で運営していく方針なのか、文書等で示していただきたい。

●生涯学習部長

椎名公民館に限らず、公民館は地域にとって非常に大事な施設と考えている。

そして、公民館は地域の防災拠点でもなくてはならないと思っているので、防災の面からも椎名公民館をどのように整備していくのかを考えているところである。

ただ、区長からもお話があったとおり、限られた市の財源の中で計画を立てていくところが非常に厳しく、耐用年数をどれくらい経過しているのか、安全面から見て早急に整備する必要があるかどうかを考慮して優先順位をつけている中で、椎名公民館は今、がけ崩れの危険性がある状況なので我々としては上位の方にあげている。

これから地域との調整を行い、計画を策定し、基本設計から実施設計、そして工事の着手となると整備完了までかなりの時間を要することになる。

そういう説明がしっかりとこれまでされていなかったが、今まさに公民館をどうするかを関係部局と検討しているということだけはみなさまにご理解いただきたいと思う。

○千葉市社会福祉協議会椎名地区部会長

我々、地域住民も公民館の整備に多くの費用や時間がかかることは重々承知している。

しかしながら、地域住民には、今後の公民館活用の方向性が共有されていないのが現状である。そのため、千葉市においてのこれからの公民館等の教育施設のあり方や社会福祉教育に対するビジョンを示していただきたい。

●生涯学習部長

社会情勢に見合った形の公民館にするにはどうしたらいいかなど、これからの公民館のあり方について、検討している段階である。

生涯学習部としては、公民館を誰もが気軽に訪れることができるような地域拠点を目指しており、そのために利用者が使い勝手がいいような公民館にするにはどうしたらいいかというのを考えている状況である。

それに加えて、防災拠点として公民館にどのような設備あれば地域にとって望ましいのかというのも検討している。

このように、まず大きな方向性を市で考えた上で、公民館の職員と実際に利用する地域住民の意見を聞く場を設けながら、地域の特性にあった公民館の整備を進めていく。

今年度より具体的にどこから手をつけていくのかという優先順位を決めて、公民館ごとの整備スケジュールを立てているところである。そこに椎名公民館が上位に入っているので、その椎名公民館についても具体的なスケジュールが決定次第、お示しすることができる。

○椎名地区スポーツ振興会会長

先ほどからお話があるように、椎名地区町内自治会連絡協議会や社会福祉協議会椎名地区部会を中心に、数年前から市に対して数々の要望書を提出してきた。しかしながら、現在

までに椎名公民館の整備は進展しておらず、十分な説明もいただけていない。そのため、整備にかかる期間や市の考えを早急に示していただきたい。

●緑区長

要望に対しての対応が遅くなっていることは事実であり、大変申し訳なく思っている。

公民館というものの自体が、社会教育施設でありながら災害時には避難所としての役割を担っている地域の拠点施設であるので、地域住民により良く使ってもらえるよう、皆様からのご意見を受けてしっかりと動き出しているところである。

その中で、今回の対話会のような機会をとらえ、意見交換をさせていただきながら、きちんと要望に対応し進めていきたいと考えている。

ただ、市としても、整備を必要とされている公民館がたくさんある中で、耐用年数や安全面等の問題をそれぞれ確認し、早急に整備をしなければならない公民館はどこなのか、どのように活用していくのか等、様々な側面から検討していく必要がある。

そのため、みなさまには椎名公民館をどうするのかを正式に決定した段階で、伝わるようにしなければならないと思っているので、大変申し訳ないところではあるが、もう少しお時間をいただいて進めていかなければならないというのが実情である。

みなさまから何度も要望をいただいているというのは承知しているが、今一度、この場で要望いただいた中で我々も再確認して、今後の公民館のあり方を考えていこうと動いているところであるので、そこはご協力をいただければと思う。

この区民対話会で、今まで要望いただいていた内容について、即答することは難しいが、期待されていることなど、今一度ご意見をお聞かせ願えればと思っている。

○JA 千葉みらいみどり野地区女性部会長

椎名公民館は築年数も相当経過しており、設備の老朽化にとっても困っている。高齢者を集めて、ふれあい給食を開催している身としては、特に衛生面が心配である。椎名地区には公民館が一つしかないため、早急に改善していただきたい。

○503 地区民生委員・児童委員協議会副会長

先ほど施設の老朽化の話があったが、新築や改築を行う予定でも、その期間がかなり先であるということであれば、現在の施設のままで、古い設備の部分のみの更新や分析を実施する考えはあるのか。

●生涯学習振興課長

椎名公民館を含めて耐用年数が過ぎている、まもなく耐用年数を迎える施設というのは、故障等の対応以外、基本的に設備の改修は行わないというのが市の方針である。よって、椎名公民館で部分的な改修ができるかというとは基本的には実施できない。

耐用年数が経過していない施設については、建て替えではなくてその施設を長く使うため、計画的な設備修繕を行っていく。椎名公民館については、耐用年数が間際であることから、先ほど申し上げたとおり、大規模改修または新築を実施するという方針である。

○椎名地区スポーツ振興会会長

現在椎名公民館の外の照明灯が十分に点灯しておらず、段差のある場所も見えない状況である。加えて、駐車場も雨が降ると水が溜まってしまい、舗装を何度もお願いしているが実施されていない。このような安全面に関わる、多少の修繕も実施できないのか。

●生涯学習振興課長

安全性の確保は最重要事項であり、必要不可欠な部分は、施設の耐用年数に関わらず整備を実施する。

各公民館から、日々運営している中で不具合があったら、その情報は母体である公益財団法人社会教育振興財団に伝達され生涯学習振興課にも情報共有されている。また、生涯学習振興課が市内の公民館に対してモニタリングを定期的を実施し、不具合がないかを確認している。その中で生涯学習振興課にお話が届いていないものもあるかと思うので、要望があればぜひお伺いしたい。

○前 503 地区民生委員・児童委員協議会委員

例えば、コミュニティセンターを建設する際にはコミュニティセンター建設委員会を発足させて、どのような設備が必要かなど、基本設計の中で住民の意見を反映させていたと聞いている。

今後、公民館を新築する際にも、コミュニティセンターのように地域住民の意見を反映させるような方策をとる考えはあるのか。

また、本日の対話会の内容を地域住民に公表していただきたい。

●緑区長

生涯学習部長が申し上げたとおり、地元の意見を聞いていく必要があるため、そのような方策は必要であると考えます。どういう形で実施するかというのは、これから精査していく。

また、この会議の議事内容等については市ホームページにおいて公開する。

別に椎名地区に文書を出してほしいということがあれば、文書の配布方法について、地区の方と地域づくり支援課で調整を行い、決定していく。

●生涯学習振興課長

現在、千城台公民館と若葉図書館を千城台南小跡地に移転し、複合施設にする予定である。複合施設とするで、面積をコンパクトでき、ランニングコストが抑えられる。また、一番の利点として、公民館と図書館の連携が可能となる。

例えば公民館で講座をやる場合、その講座の関係する本を図書館の特別コーナーで展示してもらうとか、図書館の司書がいらっしゃるし、公民館には専門職が在籍しているため、それぞれの専門の知識を持った方による連携ができるなど、相乗効果が期待できる。

また、複合施設化にあたり、新しい千城台公民館・若葉図書館を考えるワークショップを開催した。ワークショップは市民の方たちは誰でも参加可能とし、小中学生にも参加いただいた。また、別に小中学生によるワークショップも開催した。

利用者や働いている職員へのアンケート、加えて、アイデア募集のために、インターネットにて利用者関係なくアンケートを実施した。基本計画には、アンケートからいただいた地域の方の意見を反映させていく予定である。

今年4月に花見川図書館内に移転した、こてはし台公民館では、和室だけではなく会議室としても利用できるようにしてほしいという意見から、会議室の中に和室マットを設置し、必要な時には和室に変更できる仕様にした。

市としては、様々な方策で地域の意見をいただいております、良いアイデアは公民館整備に反映させていく方針である。

○千葉市社会福祉協議会椎名地区部会会長

先ほど公民館の複合施設化のお話があったが、複合施設とはどういうものか、どういった事例があるのか、どのような計画で進めていくのかというのを口頭での説明だけでなく、資料として地域住民に配布することも考えていただきたい。

●生涯学習部長

地域のみなさまに早めにお示しできるように努力する。

生涯学習振興課長から複合施設について、事例に基づいた話があったが、1年間地域の意見集約をした後に、次の年で基本計画策定に1年かけて、政策決定を千葉市の中で行う。その次の1年間で基本計画を実施、もう1年から1年半かけて、実施計画を策定し、その次に工事に入るため、整備完了まで4年から5年はかかる。千城台公民館とこてはし台公民館はこのようなスケジュールで実施しており、椎名公民館も同様となるのはご承知おきいただければと思う。まずはいつの時点で着手していくかを早急に決定していこうと考えている。

○503 地区民生委員・児童委員協議会委員

毎週金曜日に卓球場を利用している者として、大雨等の災害が起こった際に利用ができない場合は事務所から連絡してくれると言われているが、自己判断することは難しいので、そのような心配のない公民館になってほしい。

●生涯学習部長

崖から離れたところに設計するのが望ましいのかなと思っている。椎名公民館付近は移設が可能な敷地も広い。そのほか、移設する好立地な場所があれば調整をしたい。

また、連絡体制についても、しっかり取れるような形にするのと、ホームページ等でも早めにお知らせできるようにしたい。

○椎名地区スポーツ振興会会長

公民館の隣に消防の官舎があるので、そこも含めて検討していただきたい。

●生涯学習部長

ご要望として検討していく。

○椎名小学校 PTA 本部役員

前回の台風で地盤が崩れた際に公民館に伺ったが、地層がかなり弱い状態なので次に同じような規模の台風や大雨があった場合、大きな崖崩れが再度起こる可能性が高い。

そういった点とかなり築年数の経った古い建物という面から考えても、実際に建築計画の段階から、地域の方々への説明や工事の段取り、業者選定や入札など様々な手続きがあった、すぐに工事ができないことは承知している。

ただ、公民館について色々計画はあると思うが、地域住民にとっては、何かあったときにそこに行って身を守らなきゃいけないという時の拠点でもある。そのため、なるべく早急に対応していただければ地域住民の安心にも繋がっていくと考えている。

○椎名公民館長

今、防災の拠点ということでお話があったが、椎名公民館では、5月初めに大雨警報が出たとき、6月初めに土砂災害警報が出たときには、土砂災害の危険性があるということで、事前に利用団体の方にお電話等差し上げて、利用中止とした。

その後、今年は特に災害や大雨警報も出ていないが、地域の方からは、実際に災害が発生したときに不安だというお話をいただいている。

施設の老朽化というところは、空調が今の暑い夏に対応できてないことから感じている。

ただ、公民館管理室からもいろいろ修繕できるところは直していくという方向で指示が出ており、ペンキが剥げたところを直す、植栽が見苦しいところを綺麗にする、机がガタガ

タしたものを補強するなどの修繕を実施している。

消耗品についても、椅子などを使いやすいものに代えるなど可能な限り快適に利用いただけるように動いている状況である。

○千葉市社会福祉協議会椎名地区部会会長

椎名公民館駐車場の右奥の出入口は道幅が狭く、車が行違う事ができない。また、出入口付近の道路が急カーブとなっているため、車が入ってくるのか判断することも難しいので困っている。そのため、出入口の拡幅等の安全性を高める対策を要望したい。

○椎名地区町内自治会連絡協議会会長

椎名公民館が避難所として運用できない際に問題なのが、本来、椎名公民館に避難するはずであった住民を代わりに受け入れる避難所についてである。

椎名地区近隣の避難所として、古市場体育館や椎名小学校が挙げられるが、収容可能人数はどちらも500人ほどであり、十分な収容可能人数であるとは思えない。

この問題点に対して、古市場団地の空き部屋活用を避難所運営委員会で検討しているところであるが、生涯学習部からのサポートもいただければと思う。

●緑区長

現在指定されている避難所の中で近隣住民が全て収容できる規模は恐らく存在しない。

現状千葉市においては、阪神淡路大震災や東日本大震災のような、ほとんどの市民の避難が必要となる大規模災害の被害を経験しておらず、今後はこのような大災害も含めてどのように対応していくかというのは重要な課題である。

避難所については、生涯学習部からのサポートが必要だというのは承知したなかで、避難所運営委員会と関係性がある区としても、今後地域の皆さんに協力をお願いすることが出てくると考えている。

また、学校施設や公民館に対して、今回のような地域住民の要望などの情報共有をしっかりとしなければならぬ部分もあるので、みなさまからいただいた意見を受けて、市として何ができるのか、我々も検討した上で、できる範囲のことを伝えていくことが重要だと思っている。

○前503地区民生委員・児童委員協議会委員

椎名地区の実状として、避難所と避難場所の区別ができていない住民は少なく、避難所運営委員会という組織があるということを知っている住民も少ない。

そのため「HUGゲーム（避難所運営ゲーム）」を実施するなどして、市が積極的に地域住民に対して、防災に関する情報・知識を広めることも重要である。

●緑区長

市として、災害時にどういった対応しているのかというのが地域住民になかなか伝わってないところは確かにある。

区としてできること、市の施策を地域住民に伝えていく方法については今後の緑区の課題として市の防災部門とも協議を重ねながら、取り組んでいく。

○千葉市社会福祉協議会椎名地区部会会長

公民館等の複合施設化についてはこういう方向性で進んでいるということ、口頭でなく、資料を提示していただきたい。現状では、地域住民は複合施設がどのようなものかイメージできないと思う。

●生涯学習部長

こてはし台公民館についてはもう開館しているため、どういう流れの中にあったかというのをお示しできるが、千城台公民館の方はまさに今計画を立てている段階なのでお示しがまだできない。

○千葉市社会福祉協議会椎名地区部会会長

全体図を示してくださいというのはなくて、先ほどの事例のようにワークショップやアンケートなど地域の意見を聞く場を設けるにあたって、どのような形で進めているのかというのがわからない地域住民に示していただければありがたい。

●生涯学習部長

示せる範囲で示していきたい。

●緑区長

現在、公民館どうやって直していこうか、更新していこうかということを検討しており、こういう段階を踏んでいくというのを地域住民に示していかなければならないというのは生涯学習部でも考えて動いているところである。

市のなかでも、計画を策定するにあたり、どのような手順を踏んで公民館の整備を進めていくのかというのは当然議論を進めていく内容であるので、その状況に応じて、地域住民にとって必要な情報を公開するような形で対応させていただければと思う。

以上